

横沢入から大悲願寺.サント`イチ岩

担当 松永 090-1609-5814

期日 2022.9.26(月)

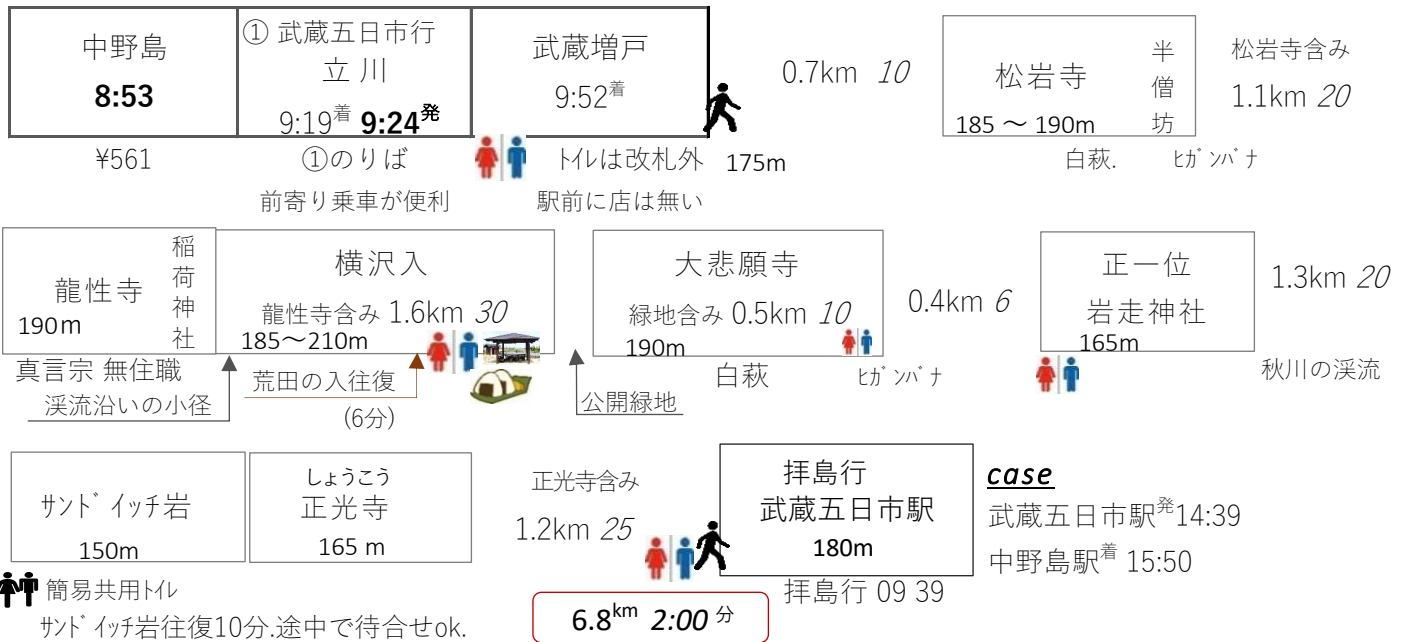
集合 中野島駅 8:48

昼食 弁当 横沢入休憩所

斜数字 休憩観賞等を含まない実歩行時間

km 坂階段等を考慮しない地図上の水平距離

m 地点概算標高



コース概要 都に里山保全地域指定の制度創設のきっかけとなった横沢入から白萩の寺でも知られている大悲願寺へ古社寺や秋川の溪流.奇岩を經由して歩きます。秋川河岸への上り下りへ等の短い坂がある地図上の水平距離7km.実歩2時間の花.緑.溪流.古社寺の散歩道です。エスケープはありません

昼食 弁当 (横沢入の休憩所を予定)

松岩寺 創立1357年臨済宗。家光より5石が寄進され、以後御朱印を賜ってきた古刹。地元伊奈石で囲われた大きなド`ウダ`ツツジある寺として知られ、白萩.ヒガ`バナが咲く静かなたたずまいの寺

横沢入 都の谷戸の自然の豊かさ調査でAランクに選ばれた地域であったが、耕作放棄などで荒廃が進み、JRが開発事業者となって宅地開発計画が進められた。これに対し「自然保護か開発か」で地域は大きく揺れた末、2000年に五日市町とJRは開発を断念した。更に都に「里山保全地域指定」の制度創設のきっかけをつくり、今ではボランティア活動により谷戸としての環境が維持保全されている

大悲願寺 創建は1191年。頼朝の命を受けた平山季重が醍醐寺の僧を招て開山したといわれる古刹。樹齢500年を越える大杉に囲まれた境内には極楽.地獄のみごとな彫刻をほどこした観音堂が建ち、堂内には国重文など多くの文化財が安置されている。また、白萩の寺としても知られ、伊達政宗が萩の花の美しさに感銘を受けて一株所望した書簡は都指定の文化財となってる

正一位岩走神社 創立平安末期といわれ、朝廷から与えられる最高位の正一位(全国で22社しかない)の歴史ある神社で、昔ながらの神事を継承する例祭では賑わいをみせる。神社前の秋川の流れの形状から1794年の宣旨により「正一位岩走神社」と称しているといわれる

奇岩サンドイッチ岩 1500万年前に堆積した地層が地殻変動によって本来は水平がほぼ90° 直立した状態になり、秋川の浸食によりサンドイッチ状に見える

* 秋川の水量が多い場合は現地には行けないので橋の上から眺める(マップ参照)



春の横沢入



大悲願寺薬師堂



大悲願寺白萩



奇岩サンドイッチ岩

マップ 横沢入から大悲願寺.サンドイッチ岩

